

科 目 名		学年	
経済学Ⅱ : EconomicsⅡ		4B	
教 員 名 岸川善紀 : KISHIKAWA Yoshinori			
単位	授業時間	科目区分	授業形態
2	100分×15回	必修	講義・後期
学修単位	○		
授業概要	本講義ではマクロ経済学について解説する。国民経済計算などの諸概念についてマクロ経済モデルをベースに説明する。IS-LM分析より財市場、貨幣市場の近郊について説明し、労働市場を加えた総需要-総供給分析について説明する。開放経済化での国民所得について説明する		
到達目標		評価方法	配分
(1) 国民経済計算、GDPなどマクロ経済学に関する諸概念を説明できる		①中間試験(30%)、②期末試験(30%)③演習課題(20%)、④レポート(20%)で評価する。(到達目標項ごとに対応するものではない)	
(2) マクロ経済における財市場、貨幣市場、労働市場の均衡条件が理解できる			
学習・教育目標	(C)①	JABEE基準1(1)	(d)-(4)
授 業 計 画	回	項 目	内 容
	第1	ガイダンス	講義全体の解説とマクロ経済学の視座について説明する
	第2	国民経済計算とGDP(1)	国民経済計算、GDPなどについて説明する
	第3	国民経済計算とGDP(2)	三面等価の原則、国民所得などGDPに関連する諸概念を説明する
	第4	財市場の分析(1)	消費関数・貯蓄関数や、均衡国民所得の決定について説明する
	第5	財市場の分析(2)	IS曲線の導出について説明する
	第6	貨幣市場の分析(1)	貨幣市場について説明する
	第7	中間まとめ	ここまでのまとめとして中間試験を実施する。
	第8	貨幣市場の分析(2)	LM曲線の導出について説明する
	第9	IS-LM分析(1)	IS-LM分析について説明する
	第10	IS-LM分析(2)	財政・金融政策とその効果について説明する
	第11	消費関数と投資関数	短期と長期の消費関数、投資のメカニズムについて説明する
	第12	AD-AS分析(1)	総需要曲線、総供給曲線について説明する
	第13	AD-AS分析(2)	AD-AS分析について説明する
	第14	国際収支と開放経済	開放経済化における国民所得、国際収支について説明する
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。また授業評価アンケートを行う。	
自学自習の内容	演習課題、レポートを課す		
関連科目			
教科書	飯田幸裕、岩田幸訓「入門経済学」創生社		
参考書			
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。		
副担当教員			
備考			